

2024年3月期決算説明会（対面+WEB説明会） 質疑応答議事録

日時 2024年5月15日（水） 13:00～14:00

説明者 代表取締役 社長執行役員 魚住 吉博

経理・財務本部長 今井 英樹

Q1. 今期の設備投資額が290億円と増える理由は何か？

A1. お客様のモデル切り替えに伴う設備投資が増える見込み。

Q2. インフレに伴う労務費高騰をOEMに価格転嫁してもらえているか？

A2. お客様と交渉し、相当分を価格に織り込んでもらっている。

Q3. 今期の営業利益の予想が160億円と減益となる理由は何か？

A3. トヨタ自動車様の生産台数は前期と大きく変わらない計画だが、中国市場の見通しを厳しく見ている。我々の知見を含め、社内で検討した数字。

Q4. 今期、部品事業以外の利益が減少するとのことだが、具体的には何のことか？

A4. お客様から2年間同額で頂いている金型の費用が減少する見込み。

Q5. 来期以降、ベストプラクティス活動が利益貢献してくると思うが、どのくらいの利益を維持していけそうか？

A5. 現在、社内で議論を進めているが、トヨタ自動車様のBEVの展開に向けて先行投資を増やしていく予定。自己資本比率も40%を目標としており、それぞれのバランスを見ながら進めていく。

Q6. ギガキャストへの対応について、一体成型をどの様に進めていくのか？また、バッテリーケースもステンレスで対抗していけるのか？

A6. 一体成型については、まだ試作レベルだが、現時点では我々の実力で何とかできるのではないかと考えている。バッテリーケースはアルミが多いが、技術力を高めていけばステンレスと溶接でアルミに対抗しようと考えている。特に鉄はアルミより安価な為、優位性がある。

以上